

みんな楽しくできた発表会。

1週間前に予行を済ませ、いよいよ発表会の日がやってきました。近隣の小学校ではインフルエンザで学級閉鎖があり心配をしていましたが、保護者の皆様のご協力子ども達の健康管理をしっかりと頂き、全員出席で臨むことができました。保育園児の1歳児はぞうさんになって大きな声でお返事ができました。言葉が増えたり出来る事がおおくなり成長を感じました。

2歳児は登園してから服に着替えるのが嫌な子もあつたのですが“おばあちゃんが見ているよ”の一言で着替えてくれたり、この服“かっこいいわ〜”の一言で気分がよくなり、舞台上がるまでの時間はモチベーションアップにてんやわんやでした。しかし、子ども達は何もなかったかのようにできていました。とにかく出てくるだけで可愛い！と絶賛の声でした。

ひかり組は、和太鼓、合奏、合唱、劇とたくさんの演目を力いっぱい発表してくれました。合奏は“天国と地獄”テンポが早いので、合わすのに一苦勞の練習を重ねました。が最後まできっちり全員が揃いそれぞれの楽器の特徴も表現できました。

合唱は、声質の良いバランスのある歌声に“ありがとう”の曲が心にじんとききました。和太鼓は凛々しくしっかりまとまりました。劇は一年を通して、子ども達の日常の遊びから夢中に慣れた事・好きな事・考えた事が飛行機作りに発展し劇になりました。楽しかったことをみんなで発表できたので一人ひとりが大きな声で生き生きと表現できました。

2日目のさくら組は、初めての幼稚園児としての発表でしたが、合奏“ミッキーマウスマーチ”も可愛くミッキーが踊っているように楽しそうに演奏できました。歌は“不思議なポケット”は、一つたたくたびにポケットの中が増えていく嬉しい気持ち・不思議な心が伝わりました。劇は三匹のこぶた。みんなで考えたセリフを上手に言えました。わらの家・木の家・レンガの家とそれぞれに工夫があり楽しかったですね。

ペガサス組合奏“スターウォーズ・ダースベーダー”は映画音楽でシンセサイザーの音色・大太鼓のリズム・各楽器のもつ音色の活かし方を工夫しました。合唱はレッスンの中での歌で英語の発音のよさが際立ちました。和太鼓は年長児・年中児の年齢差での打ち方の工夫をしました。劇はライオンキング。ミュージカルを見たり、実写版を見たり子ども達の中であらすじもしっかり理解した上、セリフはレッスンで習った言葉を英語で行いました。ライオンキングに登場している動物達が楽しく歌を唄い踊る場面の心情を演じることができました。この1回だけの発表では演じる子ども達も先生達ももっとたくさんの人に見て頂きたいと思っています。近隣の方にも見て頂く準備をしています。

またご覧になりたい方はどうぞお越してください。

次のページは保護者の皆様から、沢山の感想をいただきましたので、掲載いたします。子ども達の頑張り成長に大きな拍手を。そして最後まで温かく見守っていただきました保護者のみなさまに感謝申し上げます。